

第3学年〇組 道徳学習指導案

指導者

- 1 主題名 自然と共に生きる 中学年3-(1) 自然愛・動植物愛
資料名 「どうしたのかな？」 (ぬくもり)

2 主題設定の理由

- 本主題は「自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にすること」を主なねらいとしている。

多くの児童は、近年の夏の異常な暑さは地球環境の変化が原因の一つであることや、地球環境の変化の中で命を奪われたり傷ついたりしている動物がいることを、メディアなどを通して知っている。しかし、これらのことを日常の生活の中で気付いたり実感としてとらえたりしていくことはなかなか難しい。

そこで、海で生活する生き物の姿を児童に提示しながら、自分たちの作り出しているゴミによって環境破壊が既に身近なところで起こっていることに気付かせ、生き物や自然を大切にしようとする心情を育てさせる本主題は大変意義深いと考える。

- 本学級の児童は、これまでに学級でオクラ、ホウセンカ、スイカ、キュウリなどの植物を育てたり、アゲハチョウ、モンシロチョウ、カミキリムシなどの動物を育てたりして、自然や動植物とかかわることに深い興味や関心をもっている。しかし、目の前の動植物をかわいがることはあるが、日常生活や学級を越えて、地域や地球という規模で自然について考えることは少ない。

そこで、このような時期に、自分たちが便利な生活をしている中で無意識のうちに生き物の命を奪い、苦しめていることに気付かせ、自分たちの生活を見直していくことは意義深いと考える。

- 本資料は、ぬくもりに掲載されている、「①気持ちよさそうに泳いでいるウミガメ」「②福岡の海岸に打ち上げられたウミガメの死体」「③死んだウミガメのお腹から出てきたビニル・チョコレートの包み紙・ロープ」という3つの写真を中心にして児童の内面に迫るものである。

本時指導にあたっては、ウミガメについての写真を見せたり説明をしたりしながら児童の心情をふくらませ、自然や動植物を大切にするという価値に迫っていきたい。導入段階では、①の写真を提示し、ウミガメへの関心を高める。またウミガメの生存率を知らせ、命の尊さをつかませる。展開前段では、②の写真を提示し、なぜウミガメが死んでしまったのかを予想させる。そして、③の写真を見せ、これらのものがどうしてウミガメのお腹に入っていたのかを伝え、人間が捨てたゴミがウミガメの命を奪っていることを知らせる。展開後段では、これまでの児童の生活から、身のまわりの生き物の命は、人の命につながっていることに気付かせ、他の生き物と共に生きていくことの大切さを内面に自覚させていきたい。終末では、〇〇〇水族館の学芸員の方をゲストティーチャーに招き、福岡の海岸に来るウミガメ等の現状を聞き、生き物や自然を大切にしようとする意識の継続を図る。

3 本時のねらい

ウミガメの死を通して命の尊さに気づき、生き物や自然を大切にしようとする心情を育てる。

- 4 本時 平成20年11月19日(水) 第5校時 第3学年〇組教室に於いて

5 地域との関連(地域のひと・もの・ことの活用)

地域題材：ぬくもり 地域人材：〇〇〇水族館 学芸員

- 6 準備 ①②③の写真、産卵場所の地図、孵化直後のウミガメの写真、世界地図、ピンポン玉、道徳ノート

7 展開

段階	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
導 入	<p>1 ウミガメの写真を見て思ったことや知っていることを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 気持ちよさそうに泳いでいる。 ○ 福岡県内にも産卵しているんだ。 ○ かわいいなあ。 ○ 大きくなるまで時間がかかるんだ。 ○ ほとんど死んでしまうんだ。 <p>_____ めあて _____</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ウミガメへの興味をもたせるために、気持ちよさそうに泳いでいるウミガメの写真や、ウミガメの卵とよく似ているピンポン球を見せる。 ○ 産卵場所の地図と孵化直後のウミガメの写真を提示する。 ○ 世界地図を使って、孵化したウミガメが約2万キロを約20年間かけて泳いで福岡市近郊の浜に産卵に来ることや、ウミガメの生存率(1/5000)について知らせる。 <p>_____ 生き物やしぜんについて考えよう。 _____</p>
展 開 前 段	<p>2 ひっくり返って死んでいるウミガメについて話し合う。</p> <p>(1) ウミガメはどうして死んだのか、考えを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人間がいじめた。 ○ 病気になった。 ○ 他の生き物に襲われた。 ○ 何かにぶつかった。 <p>(2) ひっくり返って死んでいるウミガメのお腹から出てきた物を見て、どうしてお腹の中に入ってしまったのか、考えを道徳ノートに書き、話し合う。</p> <p>_____ どうしておなかの中にゴミが入ってしまったのだろう。 _____</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人間が捨てたゴミを食べたのではないか。 ○ 海や海岸に捨てられていたゴミではないか。 ○ 海や海岸ではないところのゴミが、海まで飛ばされているのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実際にひっくり返って死んでいるウミガメの写真を見せ、「死」をとらえさせる。 ○ ウミガメが死んだ理由について考えさせることで、困難を乗り越えて成長したウミガメが死んでしまった理由を考えさせ、ウミガメにとって重大な原因があったのではないかということを予想させる。 ○ 死んだウミガメのお腹から出てきたビニル・チョコレートの包み紙・ロープの写真を提示する。 ○ エサと思って食べたり、食べた物に絡まっていたりすることを説明する。 ○ 誰がゴミを捨てたのかを考えさせ、自分の身近なこととしてとらえさせる。 ○ ウミガメの生存率を思い出させ、死んだことへの心情をふくらませる。
展 開 後 段	<p>3 自分の生活をふり返り、生き物や自然を大切にするためにしている行動について考え、道徳ノートに書いて発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分のゴミは自分でもって帰る。 ○ ペットの世話を忘れずにしている。 ○ エコバッグを使って買い物をしている。 ○ 牛乳パックのリサイクルをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ねらいとする価値を内面的に自覚できるように、これまでの具体的な行為やそのときの気持ちを想起させる。 ○ 道徳ノートに書かせる前に、数人に具体例を発表させる。 ○ 自然を守る意識や経験がなかった子には、そのことに気付けたことを評価する。
終 末	<p>4 ゲストティーチャーの〇〇さんの話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 〇〇〇〇水族館の学芸員の方の話を聞くことを通して、生き物や自然を大切にしようとする意識の継続を図る。

8 板書計画

めあて
生き物やしぜんについて考えよう。

「どうしたのかな」

おなかの中に入っていた物

- ・ 人間がいじめた。
- ・ 病気になった。
- ・ 他の動物におそわれた。
- ・ 何かにぶつかった。

どうしておなかの中にゴミが入ってしまったのだろう。

- ・ 人間が捨てたゴミを食べたのではないか。
- ・ 海や海がんに捨てられていたゴミではないか。
- ・ 海や海がんではないところのゴミが、海までとばされて
いるのではないか。

生き物やしぜんを大切にするためにしていること

・・・

9 道徳ノート

どうとくノート

三年 組 ()

めあて
生き物やしぜんについて考えよう。

「どうしたのかな」

○ どうしておなかの中にゴミが入ってしまったのだろう。

